

## ヒアリング結果報告

本構想に関連する下記法人に伊達市の資源や課題、生涯活躍のまちとの連携可能性等を伺った。

## ＜ヒアリング先＞

- 医療介護：北福島医療センター、掛田中央内科、伊達市社会福祉協議会
- 産業（観光、農業）：りょうぜん振興公社、JA ふくしま未来
- 教育、健康：福島学院大学、つくばウェルネスリサーチ
- 住まい：パナホーム

主なご意見・ご示唆は以下のとおり。

**1) 伊達市の資源・課題**

## ●資源

- ・ 伊達家発祥の地である歴史的な背景や果物(桃、りんご、あんぼ柿等)がある
- ・ 霊山、ボルダーランドなどの自然の豊かさ
- ・ 地域コミュニティや介護の情報共有の場(サロン)が 153 箇所、福祉・介護ボランティア団体が 41 ある
- ・ 都心部からのアクセスが良く、二地域居住も可能
- ・ 10 年来取り組んできた健幸都市づくりの実績・効果

## ●課題

- ・ 日常の移動は車に頼らざるを得ず、山間地に住む高齢者は冬が大変
- ・ 高齢者の健康維持のための場が不足(喫茶店・商店・活躍の場など)
- ・ 高齢化、後継者不足のため、農業生産高の維持が困難、繁忙期の人手が不足
- ・ 空き家、廃校の活用方策

**2) 伊達市版生涯活躍のまちに活用可能な取り組み**

## ●医療介護

- ・ ホームホスピス事業や総合内科等の取り組み、医療相談、予防健診(乳がん)等
- ・ 高齢者の生きがいづくり、生活基盤整備の一環として、農業連携や配食等(検討中)

## ●活躍の場

- ・ こどもの村、道の駅、霊山歩きにおけるスタッフ・ボランティア、農業体験・担い手育成
- ・ 農業塾や指導員等の就農・営農支援、農地仲介、意見交換の場、繁忙期の選別・箱詰め等

## ●健康／教育

- ・ 学生や子どもに関する活動、放課後児童支援員の研修、移住者のカウンセリング
- ・ 健康ビッグデータの分析、人材育成フレーム等の提供

**3) 生涯活躍のまちへの主なご示唆**

## ●対象

- ・ 子どもや若い世代の移住も必要

## ●サービス

- ・ 元気なうちは魅力・特徴のある取組に参加、支援が必要な時にはサービスが受けられる仕組み
- ・ 終活アドバイザーがいると良い
- ・ 高齢者／移住者がノウハウ・資格等を獲得できる仕組みづくりが必要
- ・ 空き家活用の改修支援があると良い

## ●紹介、コーディネート

- ・ 就労支援サービスの提供
- ・ 移住、営農等の諸手続きがワンストップでできると良い
- ・ 安心して移住するためには、事務手続きや生活全般についてガイドしてくれる人がいると良い
- ・ 地域活動に移住者を巻き込む工夫が必要
- ・ 商品開発、販売 PR 等への首都圏からの移住者の経験・知識の活用
- ・ 住宅街が好みの人、コミュニティ密着が好みの人等、希望に応じて地域を紹介できると良い

## ●移住に対応した環境づくり

- ・ 伊達市の農産品や歴史などを活用して、魅力づくり・雇用につながると良い
- ・ 都心部で慣れ親しんだ飲食店やお店が少しでもあると馴染みやすい
- ・ 移住者には住まいの近くにある易しい自然(緑地・公園等)も一定程度必要
- ・ シニアを呼び込むのであれば介護・医療人材の補強も必要

(参考) 事業者ヒアリング結果総括表

事業者名	伊達市・各地区の地域資源、課題	「生涯活躍のまち」に適応可能なサービス、連携	「生涯活躍のまち」への示唆
北福島医療センター (伊達地域)	<b>【資源】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊達市は福島県の中でも在宅の看取り率が高い</li> <li>伊達家発祥の地である歴史的な背景や、果物(桃、りんご、あんぼ柿等)がある</li> </ul>	<b>【サービス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームホスピス事業や総合内科などの医療介護サービスの提供、医療相談、予防健診等(乳がんの特化した医療)でのサービス提供</li> </ul> <b>【連携】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療・介護分野でのサービス・雇用における全面的な協力・土地提供(要・農地転用)</li> </ul>	<b>【示唆】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療センターの取組や労働災害等を踏まえ、農業以外の提案が必要である</li> <li>子供・若い世代の誘致も検討いただきたい</li> </ul>
伊達市社会福祉協議会	<b>【資源】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域コミュニティや、介護等の情報共有ができる場(サロン)が、計153箇所ある</li> <li>福祉・介護ボランティアが、計41団体ある</li> </ul> <b>【課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>山間部は、新規居住者が少なく、昔から暮らす人が多く、結いの仕組みがあるため、有償での活動に理解いただくことが難しい</li> <li>福島のサ高住へ転居する例が多い</li> </ul>	<b>【サービス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>サロンを使った活動、ボランティアとして活躍できる場の提供は可能だが、ノウハウ・資格等を獲得できる仕組みづくりが必要</li> <li>就労支援サービスの提供</li> </ul>	<b>【示唆】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>元気なうちは魅力・特徴のある取組に関われ、支援が必要な時にはサービスが受けられる仕組みがあると良い</li> <li>移住者には、6次産業化の検討など、伊達市の魅力アップに貢献してもらえると良い</li> <li>終活アドバイザーがいると良い</li> </ul>
りょうぜん振興公社 (霊山地域)	<b>【資源】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>霊山、ポルダーランドなどの自然の豊かさ</li> <li>伊達市の各地で地域おこし協力隊等の受入れており、経験知が増えてきている</li> </ul> <b>【課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>空き家、廃校が増えており、活用方策が必要</li> <li>日常の移動は車に頼らざるを得ない</li> <li>山間地に住む高齢者は冬が大変</li> </ul>	<b>【サービス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>こどもの村、道の駅(来年オープン予定)、霊山歩きにおけるスタッフ・ボランティア等</li> <li>道の駅付設の農園は、農業体験・担い手育成も視野に準備中</li> <li>商品開発、販売PR等は首都圏からの移住者のこれまでの経験・知識を生かしてもらいたい</li> </ul>	<b>【示唆】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>移住される方はある程度、地元住民への歩み寄りが必要であり、地元側でも地域活動に移住者を巻き込む工夫が必要</li> <li>地元の方の住み替えには、病院・介護サービス・グループホームなど1つの流れを示し、サ高住にも段階的に誘導する仕組みも必要</li> <li>住宅街が好みの人、コミュニティ密着が好みの人等、希望に応じて地域を紹介できると良い</li> </ul>
掛田中央内科 (霊山地域)	<b>【資源】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>市場にあまり流通していないような農産物が数多くある(柿・桃の種類も豊富)</li> </ul> <b>【課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の健康維持のためには、生きがいが必要だが、そういった場が不足している(喫茶店・商店・活躍の場など)</li> <li>高齢者の健康維持、要介護レベルを高めないための体制づくりは、地区によって差がある</li> </ul>	<b>【サービス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>24時間体制の在宅医療・訪問診療を中心として地域包括ケアの一通りのサービスを保有</li> </ul> <b>【連携】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>県立医大病院まで車で25分、外科・呼吸器科・精神科等の先生の応援体制もある</li> <li>高齢者の生きがいづくり、生活基盤整備の一環として、農業連携や配食等も検討中</li> </ul>	<b>【示唆】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地元の農産物の維持・生産に移住者が関わってくれと良い</li> <li>伊達市の農産物や歴史などを活用して、魅力づくり・雇用につながると良い</li> <li>空き家活用では改修コスト(耐震補強・浄化槽設置等)がかかるため、支援があると良い</li> <li>現状では人手はあるが、シニアを呼び込むのであれば介護・医療人材の補強も必要</li> </ul>

事業者名	伊達市・各地区の地域資源、課題	「生涯活躍のまち」に適応可能なサービス、連携	「生涯活躍のまち」への示唆
JA ふくしま未来	<p>【資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国 1 位は少ないが、桃・きゅうりなど全国 2 位の生産量のものが多い</li> <li>・ 農業者は農産物を大切に育てている</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢化、後継者不足のため、生産高を維持するのに苦労している</li> <li>・ 特に、果樹園は後継者がなくなってしまうのが、もったいない</li> <li>・ 繁忙期の人手不足</li> </ul>	<p>【サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業塾や作物生産の指導員など、就農・営農支援のサービスがある</li> <li>・ 農地の仲介</li> <li>・ 「みらいろ女子会」「若手農業者の会」等、各種意見交換の場の提供</li> <li>・ 繁忙期の農作業負担の軽減のため、選別・箱詰め等の有料サービスを実施している</li> </ul>	<p>【示唆】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移住者がどの程度農業へ参画したいか、地元住民との意識の差があるのではないかと</li> <li>・ 移住、営農等の諸手続きがワンストップでできると良い</li> <li>・ 安心して移住するためには、事務手続きや生活全般についてガイドしてくれる人がいると良い</li> </ul>
福島学院大学	<p>【資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都心部からのアクセスが良く、二地域居住も可能である</li> <li>・ 医療機関が充実している</li> </ul>	<p>【サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生や子どもと関連付けた取組のオファーがあれば連携や協力が可能である</li> <li>・ 児童館を作れるならば、学童保育の放課後児童支援員の認定資格研修を提供できる</li> <li>・ 心理臨床相談センターもあるので、移住者のカウンセリング等のサービスも可能である</li> </ul>	<p>【示唆】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者だけを対象とせず、若者世代を伊達市に呼び込み、将来的に移住の候補地となるような長いスパンでの視点も必要</li> <li>・ 都心部で慣れ親しんだ飲食店やお店が少しでもあると移住者にも馴染みやすい</li> <li>・ 東京に暮らす人が考える自然イメージ（街路樹や緑豊かな公園）は伊達市の実際の自然とは異なる点に留意する必要がある</li> </ul>
つくばウェルネスリサーチ	<p>【資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域コミュニティの中で、議論をしながらより良いものを作っていく素地がある</li> <li>・ 震災以前から 10 年来取り組んできた健幸都市づくりの実績・効果は、自信を持って対外的にアピールできる</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康管理に関心が高くない層を健幸活動に巻き込む方策の検討が必要である</li> </ul>	<p>【サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ e-ウェルネス・健康ポイント・SWC 推進・伊達市における SWC 関連の PR を目的とする、健康ビッグデータの分析結果・コンサルティング・人材育成フレーム（例：健康アンバサダー養成事業）等の提供</li> </ul>	<p>【示唆】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移住者を呼び込む場合、居住環境の近くにある易しい自然（緑地・公園等）の整備も一定程度必要</li> </ul>
パナホーム（保原地域）	<p>【資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福島市から近いことから、駅前基盤、商業施設等の整備ができれば、ファミリー層・首都圏からの移住層にとって魅力的なまちを形成できるポテンシャルがある</li> </ul>	<p>【サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平屋建て・バリアフリー対応の分譲住宅プラン（首都圏近郊で平屋建てモデルルーム展開中）</li> <li>・ 公民館とその中で使用するトレーニング機器等を準備することは可能である</li> </ul> <p>【連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公民館・備品を活用したプログラムを運用してくれる事業者等があれば連携可能</li> </ul>	<p>【示唆】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就労支援、農業体験等の枠組みやメニューの整備を行政主導で作ると、移住者は入りやすい</li> </ul>